

平成28年度 第2回釧路市地域公共交通活性化協議会 議事録要旨

| | |
|--------|----------------------------|
| 日 時 | 平成28年10月27日(木) 14:00~16:00 |
| 場 所 | 釧路市交流プラザさいわい 1階多目的ホール |
| 出席委員 | 24名(うち代理出席1名) 欠席6名 |
| 事務局 | 3名 |
| 業務受託者 | 2名 |
| オブザーバー | 3名(うち代理出席1名) |

1. 開会

2. 議事

(1) 地域公共交通活性化協議会専門部会の開催結果について

・事務局より説明 資料1

(岸副会長)

- ・専門部会については、10月24日に開催しており、後程お示いたします資料について、議論を行いました。今回の資料では、比較的若い世代が多い地区は、人口が多くてもバスを利用しないなど、見えてきた部分がございます。アンケート調査からもバス停の環境について不満が出ているなど、詳細な分析結果が出ております。
- ・また、バス交通に関して、無関心な市民が多く、ほとんどの方が車を利用していることについて、いかに市民の関心を集めていくのか、また市民が公共交通を支えるという意識醸成をいかに行うかを議論しました。
- ・さらに、将来的な公共交通網についても議論を進めており、本日の協議会ではまだお出しできる段階ではありませんが、現状の直行便を維持するのか、あるいは郊外部に交通結節点を設定し、都心部までの乗換の路線を設定するのが良いのかなど、かなり具体的な議論をしています。これについては、メリットなどについても議論をしています。
- ・このような議論を進めていく上で、どこに拠点を設定するかは、立地適正化計画とのリンクも視野に入れて、検討を進めています。

(名塚会長)

- ・地域公共交通活性化協議会専門部会の開催結果について、事務局並びに岸副会長からご説明がございました。この点について、ご質問やご意見はございますでしょうか。

～質疑なし～

(2) 地域公共交通網形成計画の作成に係る各種調査結果の報告

- ①バス乗降調査結果の報告
- ②公共交通に関するアンケート結果の報告
- ③交通まちづくりに関する学生ワークショップ結果の報告

・業務受託者である「日本データーサービス株式会社」より説明 資料2～資料4

(名塚会長)

- ・業務受託者から地域公共交通網形成計画策定に係る各種調査結果の報告をいただきました。確認事項等ございますでしょうか。

(平間委員)

- ・資料の量が多いので、事前配布をしていただければと思いました。この調査結果から、今まで仮説として考えていた内容が、資料として見えてきた調査だと思えます。

(名塚会長)

- ・専門部会で挙げた意見などで、特徴的な意見があればいただきたいと思えます。

(岸副会長)

- ・平間委員のご指摘の通りですが、皆様が考えていた内容が資料化されたのは、今回の成果だと思えます。特に資料2-1は各路線のカルテになっており、詳細に分析されています。さらに資料2-2では、人口とバス利用者数との関係性を整理していますが、専門部会では利用者が少ない地域は、若い世代が多く、バスではなく、車を利用することが指摘されています。ここからは、利用促進策を検討するのが良いのではないかと議論をしました。

(宮下委員)

- ・資料3-1の19ページについて、バス停環境の不満度が高いというのはどのような点でしょうか。

(日本データーサービス)

- ・バス停のベンチや屋根などの環境について、聞いた設問です。

(名塚会長)

- ・バス乗降調査実施時の天候はいかがでしたでしょうか。

(日本データサービス)

- ・3日間とも晴れでした。

(平岡委員)

- ・学生ワークショップについて、釧路市には4つの高等教育機関がありますが、交流する機会がなかったので、とても良い機会になりました。また、学生は普段からバスを利用していないことが明らかとなりました。また、資料4-1の4ページ目でそもそもバスを利用する必要がないという意見が印象的であり、車を利用しているという理由もあると思いますが、釧路市の各地域の構造として、都心部まで行かなくても生活が出来てしまうことが要因だと思いました。
- ・しかし、学生自身は都心部まで行ってみたいという気持ちはあるが、都心部がそのような場所になっていないことが問題だと思います。このことから、公共交通の検討を進めるとともに、まちづくりについても検討を進めることが重要だと思います。
- ・学生主体の活動については、市役所に音頭を取っていただきつつ、たくさん開催しても良いと思いました。

(伴委員)

- ・資料3-1の10ページの解説について、本調査はバス利用者もしくはバスを利用したいと考えている方に優先的に回答していただいているとの記載がありますが、これは推察でしょうか。

(日本データサービス)

- ・アンケート票の回答にあたっては、バスを利用したい、もしくはバスを利用されている方に優先的に回答していただくようお願いしております。

(伴委員)

- ・27ページ以降について、各地域の回答数の割合はいかがでしょうか。

(日本データサービス)

- ・6ページの居住地をベースに集計しておりますので、それぞれの地域割合はほぼ同数となっております。

(岸副会長)

- ・日頃の交通行動について、補足ですが、全回答者を対象に集計しておりますので、今後、バス利用の有無で集計したいと考えております。
- ・資料3-1の26ページについて、ここは仮想の設問であり、色々な組み合わせから調査票を作成しており、その集計をしております。今後、詳細に分析を進めていく予定です。

(3) 地域公共交通網形成計画（素案）の作成プロセス及び記載事項

- ・事務局より説明 資料5

(名塚会長)

- ・事務局から地域公共交通網形成計画（素案）の作成プロセス及び記載事項について、説明がございましたが、資料6についての説明を受けた後に、一括してご質問等をいただきたいと思います。事務局から資料6について説明をお願いします。

(4) 地域公共交通網形成計画（素案）の基本的な方向性について

- ・事務局より説明 資料6

(名塚会長)

- ・事務局から地域公共交通網形成計画（素案）の基本的な方向性について、説明がございましたが、確認事項はありますでしょうか。
- ・先ほどの資料5も含めて、ご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(岸副会長)

- ・資料6について、専門部会からの変更点として、市民意識の醸成を基本的方向性に加えたことと、キャッチフレーズを変更しております。専門部会においても再度協議することとしており、ブラッシュアップしていきたいと考えています。

(名塚会長)

- ・計画のアウトラインが見えてきたと思いますが、ご質問はいかがでしょうか。

(宮下委員)

- ・くしろバスさんと阿寒バスさんにお聞きしたいのですが、各種調査結果が出てきた中で、今と昔を比較して、変わった点など、もしあればご意見をお聞かせいただけないでしょうか。

(畑毛委員 (くしろバス))

- ・現在はお客様のニーズに答えるため、路線や時刻を変更しており、ニーズにマッチしていると自負しています。昔と比較して大きく変わったのは、昔は北大通を中心に発展してきた釧路市ですが、今は郊外型の商業施設への行動に変化しています。くしろバスとしては、その郊外部の商業施設に多くの路線を配置するように変更しています。

(須田委員 (阿寒バス))

- ・西部北地域においては、昔と比較するとバス利用者は少なくなっています。正確な値ではございませんが、3～4割は減少しています。全地域で当てはまることですが、減便しても苦情は一切なく、利用者ニーズにマッチした運行計画を作成できていると考えています。
- ・アンケート調査結果について、回答者のバス交通に対する満足度は低くなっており、苦情はなくとも意識的な部分で表れていると思います。
- ・今後、阿寒バスとしては、バスロケーションシステムについて、利用者増加に有効な施策と考えており、導入を検討していきたいと考えています。また、バス停におけるデジタルサイネージの導入についても計画しています。

(名塚会長)

- ・地域公共交通網形成計画で重要な部分は、交通事業者だと思いますが、各種調査結果をみますと、交通事業者だけではなく、市民の意見も踏まえて、バス交通を考えていくことが重要だと思います。

(5) 地域公共交通網形成計画 (素案) 作成スケジュール (変更案)

- ・事務局より説明 資料7

(名塚会長)

- ・委員の皆様におかれましては、お忙しいことと存じ上げますが、よろしく願いしたいと思います。

3. その他

事務局より「釧路市の「交通まちづくり」について」説明

(名塚会長)

- ・全体を通して、ご質問等はございますでしょうか。

～質疑なし～

- ・最後に事務局から次回協議会の開催日時について、説明をお願いします。

事務局より次回協議会開催日時（11月25日 10時より開催）について説明

4. 閉会